

# 日中友好協会 八王子支部ニュース



みんなで参加・多彩な活動！ 広げよう・大きな“わ”！ 佐藤副支部長：FAX:042-645-8415

2023. 6. 25

国際中医専門員、国際中医薬膳管理師 笹沼 歌乃さん

## こころとカラダの元気を作る中医学入門

日中友好新聞でお馴染み「漢方で元気に！」を執筆してくれているイスクラ産業(株)さんから、国際中医専門員、国際中医薬膳管理師の資格をお持ちの笹沼 歌乃さんをお迎えし、アマダステーションで聊聊天会(おしゃべり会)が開かれました。



### 漢方と中医学の違い

まずは漢方とは日本だけで使われている呼び名だという事にビックリ。そのルーツである中国伝統医学を「中医学」といい、それを元に、7世紀頃日本に伝わり、風土にあわせて変わっていったものが漢方との事でした。「中医学」は中国の数千年にわたる臨床経験に基づいて、生理学や病理学、薬学などの基礎理論を総合した伝統医学で、薬膳もその1つだそうです。たとえば、刺身のつまの紫蘇は、魚の解毒作用があり、体を温める作用があるそうで、理にかなった付け合わせだといえます。

笹沼さんは、ご自分の育児経験などを織り混ぜながら中医学との出会い等話を進めて下さいました。

### 中医学は自然界とのバランス医学であり、個々の体質に合わせたオーダーメイド医学であり、予防医学

西洋医学は、まず病名をつけて、それに合わせて治療をしていきますが、中医学は個々の人の体全体を見て、その人の体質に合わせ、生活習慣や食生活などを見直し、病気を未然に防ぐ(未病先防)のが特徴です。

そのため、中医学では、望診(その人の体や顔、動作や排出物などを見る)、聞診(匂いや、咳などを聴く)、問診(体の具合を問う)、切診(体に触れる)の四診で個々の体質や体調を知り、治療していきます。

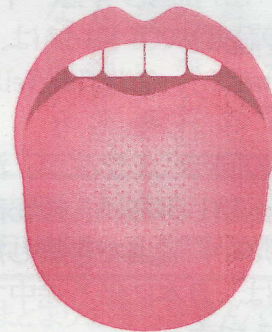
**舌診** 望診の1つで、日々舌の状態を鏡で見えて観察することで、体質や体調の特徴や変化を知ること(セルフチェック)ができます。

### 舌診のポイント

1. 口を大きく開き、自然に舌を出す。
2. 自然光で観察。夜間や暗いところは避けて。
3. 飲食の影響で舌の色が変わるので要注意。朝起きてすぐ見るのがおすすめ。

### 各部の名称と臓腑の関係

舌の場所(部分)は五臓の健康状態を反映します。



### 健康な人の舌

- ・きれいなピンク色
- ・薄っすらと白い苔
- ・程よい大きさ・厚さ
- ・適度な潤いがある

この日は、用意した鏡を手に、皆さん、舌を突き出して、自分の体質のタイプを、チェックシートにチェックをいれながら、診断しました。むずかしい！！

残念ながら、この紙面では各々の体質タイプの舌の色や形状が表せないなので、紹介を省略させていただきます。ただ、2つも3つもタイプが重なっている場合もあって、判断に迷いました。

鏡で自分の舌を見ることや、チェック表による体質を把握して、日頃の体調管理に役立てていく事等、教わりました。タイプ別おすすめレシピ付きの参考資料もあり、奥深い中医学の初めの一步でした。ぜひその続きを聞きたいなと思いました。よい時間を過ごさせていただきました。(間世田)



「飯田市平和祈念館を考える学習会」では、731部隊の展示を飯田市にきちんとしてもらうために、学習会をしています。今回は、オンラインでその録画を見ました。



今回は、1945年の3月に、高等小学校の先生に勧められて、長野県の宮田村から元731部隊少年隊員に行った、清水英男さんのお話を聞きました。YouTubeのタイトルは「731部隊少年隊・平和祈念館」（清水英男さんの証言）でアドレスは、<https://www.youtube.com/watch?v=GcAgfhKyYeU>です。

当時は、長野県から多くの同年代の学生が、満州に渡ったということです。731部隊は、極秘部隊だったので、敗戦前に満州から脱出できましたが、他の部隊に行った生徒は、日本に帰る途中で亡くなった方も多くいたようです。

14歳で、731部隊少年隊に配属されて、見習い技術員として、病原菌の検査とか消毒法とかが自習室での主な仕事だったようですが、時々、戸外に教官と2人だけで出て、いろいろと、中国人の家屋の事とか、凍土のこととか、応急手当のことなどを学んだということです。

清水さんが、記憶に強く残ることは、やはり731部隊の標本室の見学だったということです。ペスト菌やコレラ菌に感染させた人「マルタ」（実験材料）のありとあらゆる内臓とか、人体を真っ二つにした標本、赤ちゃんとか、女性でいろいろに実験されて解剖されたホルマリン漬けの標本を見たことを、90過ぎた今でも思い出すと述べています。

それも、集団で入らせず、教官と2人だけで見せるという何とも怖い話です。

この標本室を見学したことで、731部隊のやっていることを知ったと見なされて、731部隊を破壊して証拠隠滅した後、帰る前に、青酸化合物を渡されて、「ソ連にも捕まったら自決しろ」と命令されます。

731部隊では、ハルビンの731部隊だけでなく、

中国各地の防疫給水部で、人体実験が行われ、それらの標本を作っていました。その1部が、東京の陸軍軍医学校に運ばれた可能性があります。

1989年に、軍医学校跡地の建替えの時に、多くの人骨が発見され、今でも問題になっています。また、少年隊の上官の班長が、自分の班だけの隊員だけをかかわり、他の班の隊員をいじめていたものだから、いじめられた隊員が、みんなで、就寝前の当直で点呼しに部屋にやってくるその班長をやっつけるという少年隊員の反乱もありました。やった少年隊員たちは他班の班長が様子を知っていたので、軍法会議にはかけられず、その班長は、班長から外され、石井部隊長のボディガードになったということです。

また、清水さんは、蒸し饅頭を食べて、熱がでたことを語っています。少年隊員も、ある意味「マルタ」（実験材料）にされていたのではないかと思います。蒸し饅頭を食べ、熱が出て1週間ほど少年隊舎で寝ていても、治らなかったのですが、衛生兵の苗字が同じ清水と言う人に、注射を打ってもらって、熱が下がったということです。そして、注射を打ったことは、誰にも言わないように約束させられました。731部隊には、診療所がありましたが、そこにも行かなかったようです。

※診療部の軍医は、特設監獄の「マルタ」の人体実験にも大きく関わっていました。

他の少年隊員も、蒸し饅頭を食べて、細菌に感染して、ある者は回復し、ある者は、日本人の少年隊隊員でも「マルタ」同様、解剖され、標本になった人もいるようです。（平川三雄さんの例）

1945年8月12日、ソ連の参戦があつて、731部隊は、施設を爆破します。それが終わって少年隊舎に帰ると、「今日 京都出身の吉川さんが亡くなって朝から焼き始めて夕方にやっと焼けた」ということを聞いて清水さんは、びっくりします。清水さんが熱を出して寝ていた時に、1人置いて寝ていた人が、終戦の際に体の具合が悪いと言ったら「盲腸だ。」と言われて2日も手術をしないで隊舎に置かれ、いつの間にか、入院して死んでいたということです。

清水さんは、それまで 盲腸になった人を手術せずに放ってあったことに驚きあきれたと言います。敗戦時は、医療物資も、食料も少なくなり、大変な状況の中で、病人は見捨てられ、死んでいったことがわかります。



董卓に貂蝉を献上する

画像出典元: 珍藏懐旧版四大名著連環画「三国演義」

数日後、王允は今度は董卓を自宅に招くのであった。董卓は、国家の元老である王允に招かれて応じないのは礼を欠くとこれに応じ、王允の自宅へ赴くのであった。王允は、董卓に酒席を用意した。宴の余興として王允の侍女が舞を披露する。董卓は自身の後宮にもこれほどの美女はいないと絶賛した。その様子を見た王允は、貂蝉を董卓に差し出すことを提案するのであった。

(熊谷市けやき法律事務所)

王允は、呂布に宛てて蓄えてあった宝物の一部を贈呈した。呂布は、朝廷に仕える大臣から宝物を受領しては挨拶に赴かないわけにはいかないと王允の自宅へ挨拶に向かった。呂布は、王允に武將の一人として董卓に仕える自分に朝廷の大臣が宝物を送っていただけなのかと尋ねる。王允は、呂布の武名は天下に轟いており、王允の家としても呂布と親しくしておくことは家を安んずるために意味があることを説いた。王允は、呂布を宴をもって出迎えた。そして、宴が盛り上がってきたころ王允は、貂蝉を宴に招き入れ、舞を見させるのであった。呂布は貂蝉の舞に見入ってしまい心を奪われてしまった。王允は、呂布の様子を見て貂蝉に呂布のもとで仕えるように言った。王允は、呂布に対して、後日貂蝉を送り届けることを約束する。呂布は天にも昇るような気持ちで帰路についた。

### けんたの話③

松永健汰さんは、昨年12月に日中友好協会八王子支部に入会しました。本人の承諾を得て日朝協会八王子支部通信から転載させていただきます。

今回は、私に届いた質問にお答えする形でお話します。

先日、「朝鮮問題で活動している団体はたくさんあるでしょうどうして日朝協会だったのか」「日朝協会をどのように知ったのか」というご質問を頂きました。まずは「日朝協会を知る経緯」から。私が日朝協会を知ったのは、日朝関係についてインターネットで検索していたところ、日朝協会のウェブサイトを見つけたことがきっかけでした。

日朝協会の紹介や活動報告が充実しており、とても興味深く拝見しました。「入会の呼びかけ」のページもありましたが、当時の私はまだ市民活動に参加したことが無かったために連絡を試みる決断ができませんでした。それでも、何らかの形で日朝関係の改善を進める活動をしたいと思っていました。

そんなとき、SNSで知り合った方が参加されていた市民活動に招かれて、初めて市民活動というものに参加しました。日本国籍の方、朝鮮国籍の方、韓国国籍の方など、色々な境遇の人が集まり、皆で語り合いながら「これからどうするべきか」を考える集会。とても新鮮で、進歩的で、有意義な時間でした。しかしながら、その集会は団体として

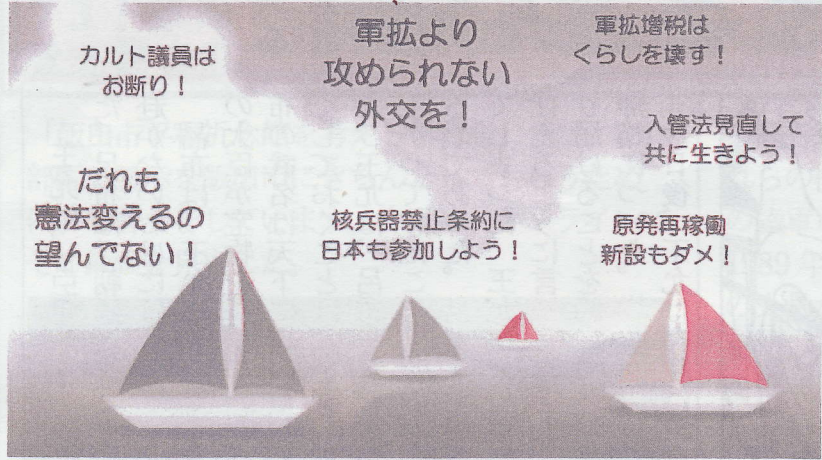
のまとまりを持ちませんでした。そのため、定期的に開かれるその集いが団体としてデモなどの活動を行うことは無かったのです。

私はそれが非常に勿体ないというか、大事な部分が欠けているように思えました。闘争には団結力と忍耐力が必須だと私は考えますが、それを備えている団体、それが日朝協会です。「私にとっての日朝協会の意義」、これは団結力です。一人には出来ないことも二人なら、そうして拮がった輪が結束して打たれ強く進み歩むことで、自由や平等を勝ち取ることが出来るのです。日朝協会の歴史はまさにこの具現ともいえるべきものでしょう。

私は日本中国友好協会の集会で日朝協会八王子支部の事務局長さんと出会ったとき、嬉しくて仕方がありませんでした。その場で活動を共にさせて頂きたいとお願いし、日朝協会の一員となったのです。

それから私は日々勉強しています。全ては朝鮮人差別のない自由で平等な社会のために。





カルト議員は  
お断り!

軍拡より  
攻められない  
外交を!

軍拡増税は  
くらしを壊す!

入管法見直して  
共に生きよう!

だれも  
憲法変えるの  
望んでない!

核兵器禁止条約に  
日本も参加しよう!

原発再稼働  
新設もダメ!

第 96 回

## NO WAR! 八王子アクション

2023年7月16日 10:30~ JR 八王子駅北口

## 関東大震災から 100 年

### 朝鮮人・中国人らの虐殺は なぜ起こったのか?

講師：日朝協会・宮川泰彦さん

2023年7月23日 13:30~

アミダステーション2階

資料代：500円

問合せ先

日中友好協会 中道：042-664-5980,

日朝協会 島岡：042-626-8934

### 《日中友好協会八王子支部日程》

7月23日(日)10:00~ 八王子支部理事会 (アミダステーション)

13:30~日朝協会東京都連会長・宮川泰彦氏

関東大震災から100年

—朝鮮人・中国人らの虐殺はなぜ起こったのか?

7月27日(木)10:00~日中友好協会東京都連第72回大会

8月13日(日)10:00~八王子支部理事会 (アミダステーション)

8月27日(日)13:00~ 日中友好協会八王子支部第19回総会

記念講演 日中友好協会・末浪靖司さん「日中米関係の今後」

9月24日(日)10:00~八王子支部理事会 (アミダステーション)

13:30~映画会「少年の君」—いじめが主題の中国映画

10月28日(土)生涯学習フェスティバルに参加

「中国の文化にふれよう」

八王子支部ホームページ:

<https://nittyuyukohachioji.web.fc2.com/>

山越拓児さんの世相を映す替え歌⑦

## 「健康保険証を 廃止するなよ」

~「戦争を知らない子供たち」~

♪健康保険証をマイナカードに  
健康保険証を廃止するという  
トラブル続きのマイナ保険証  
他人の情報紐づけられたことも  
僕らの命を守るためには  
健康保険証を廃止するなよ

♪便利になると政府は言うけど  
読み取り機械が読み取れないことも  
個人の情報ダダ漏れしてるのに  
マイナカードの推進一辺倒  
マイナカードを強制するなよ  
健康保険証を廃止するなよ

♪要介護になっても障害があっても  
誰にも届いた健康保険証  
マイナカードを作れない人も  
作ったら管理ができなくなる人も  
僕らの命を守るためには  
健康保険証を廃止するなよ

マイナンバーカードを強制するなよ  
健康保険証を廃止するなよ

### 第19回日中友好協会八王子支部定期総会

総会 受付12時40分~ 開会13時00分

議事 ① 第18期年度活動報告

第18期年度会計報告

② 第19期年度活動方針(案)

第19期年度会計予算(案)

③ 第19期役員選出

第19期記念講演

受付13時45分 講演 14:00~16:30

「日中米の関係は今後どうなるか」

日中友好協会参与・ジャーナリスト

末浪 靖司氏

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、月2回発行のタブロイド判8Pの新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。ぜひご購入下さい。

1ヶ月550円(送料込み)購読申込 042-645-8411:佐藤